

仕様書

- 1 業務名
大原 1 7 号線兼用護岸復旧業務
- 2 業務目的
尾越川の水流により削られた大原 1 7 号線の兼用護岸部分を復旧し、通行車両の安全を確保するもの。
- 3 履行期限
令和 8 年 1 2 月 2 5 日まで
- 4 履行場所
京都市左京区大原大見町地内 大原 1 7 号線 2 箇所
- 5 業務範囲
別紙参照（箇所図、写真）
- 6 業務内容
 - (1) 崩落している兼用護岸部を耐候性大型土のう等で復旧する。
 - (2) 大型土のうを設置するために部分的に石積等を撤去し、緩みが発生している箇所は補強すること。
 - (3) 河床を整地してから大型土のうを設置し、AS 舗装と隙間がないよう擦り付け、材料等は本市職員と協議すること。
 - (4) 別紙写真を参照すること。
 - (5) 着手前、施工中、完成後の写真を提出すること。
- 7 支払条件
業務完了後、履行場所（業務範囲）において適切に業務が履行されていることを確認のうえ、本業務に係る経費を支払う。
- 8 特記事項
 - (1) 業務により河川線形が変わる事の無いように注意するとともに、前後の兼用護岸と滑らかにすりつける構造とする。
 - (2) 修繕範囲内にある支障となる樹木については撤去し、樹木の育成していた対岸土地に存置するものとする。（第一工区）
 - (3) 現場での発生土は埋戻し等、現場内利用すること。
 - (4) 作業に要する材料費、労務費、車両運転費、仮設資材、機械工具類の賃料・損料、消耗品費及び諸経費等の全ての費用は本業務に含む。
 - (5) 業務に伴い廃棄物が発生した場合は適正に処理するものとし、運搬費及び処分費は本業務に含む。

- (6) 道路利用者等の安全を確保し、適切な規制のうえ作業すること。道路規制に伴う道路使用許可は、受託者において取得すること。
- (7) 作業実施者の安全管理は、受託者の責任において行うこと。
- (8) 作業時間は原則として平日の午前 9 時から午後 5 時までとする。
- (9) 近隣住民へ工事ビラ等で周知すること。
なお、周知方法については別途指示する。
- (10) 問題が生じた場合は、速やかに本市担当職員に連絡すること。事故等により第三者や他の工作物に損害を与えた場合は、受託者の責任において対応すること。

箇 所 図



写 真

第一工区



第二工区

